

事業所名		ハッピーキッズ FC牛久療育プログラム			支援プログラム（参考様式）			作成日		2024 年		9 月		10 日	
法人（事業所）理念		私たちは、サッカーを通じて子どもたちの 社会性 や コミュニケーション能力 を育むことを大切にしています。ルールを理解し、協調性を養い、感情をコントロールする力を身につけることで、仲間と共に成長する喜びを実感してほしいと考えています。私たちの目標は、単にスポーツの技術を向上させることなく、数年後、あるいは数十年後に社会の一員として活躍できる基礎を築くことです。子どもたちが将来、自信を持って社会に踏み出せるよう、一人ひとりに寄り添いながら支援を行ってまいります。													
支援方針		1. チームスポーツを活用した集団行動の促進 子どもたちがサッカーを通じてチームワークや集団行動の重要性を学び、協力することの大切さを理解します。 2. 他者への思いやりの育成 ゲームや練習を通じて、相手への思いやりやコミュニケーションスキルを育て、社会性を高めます。 3. 挑戦を後押しする支援 子どもたちが新しい技術に挑戦し、成長する過程を応援し、成功体験を積むことで自信を育てます。 4. 褒めることの重要性 子どもたちの努力や挑戦を積極的に褒めることで、モチベーションを高め、自己肯定感を育みます。													
営業時間		10 時 00 分 から			19 時 00 分 ま で			送迎実施の有無		あり					
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	サッカーの活動を通じて、体力を養い、健康的な生活習慣を促進します。 規則正しい生活リズムや基本的な自己管理能力の向上を目指します。													
	運動・感覚	サッカーによる運動療育で、身体能力や運動技能を高めます。 ボールの扱いやドリブル、シュートなどの技術練習を通じて、運動機能や感覚の発達を支援します。													
	認知・行動	サッカーの練習や試合を通じて、戦術の理解や問題解決能力を育てます。 また、行動の規律やルールの遵守を学び、認知的なスキルや行動の改善を促進します。													
	言語 コミュニケーション	チームメイトとのコミュニケーションや指示の理解を通じて、言語能力を向上させます。 サッカーのプレイ中に言葉を使ったやり取りや指示の受け取り、表現力を育てます。													
	人間関係 社会性	サッカーを通じて、協力やチームワークの重要性を学び、他者との関係性を深めます。 仲間との交流や相互支援を通じて、社会性や対人スキルを育成します。													
家族支援		保護者との連携を大切にし、お子さまの成長を共に支えていきます。個別支援計画の更新時には面談を実施し、現状の共有や今後の支援方針について話し合います。また、送迎時など日常の場面でも保護者とコミュニケーションを図り、ご家庭での様子や お困りごとをお聞きしながら、適切な支援へとつなげていきます。						移行支援		成長や状況に応じて、適切な移行支援を行います。					
地域支援・地域連携		安心して成長できるよう、地域の関係機関と連携を図ります。相談支援専門員や学校との情報共有を適切に行い、共通の支援方針を持って関わることで、一貫した支援を提供します。						職員の質の向上		質の高い支援を提供するため、定期的に職員研修を実施しています。研修では、発達支援に関する最新の知見や具体的な支援方法を学び、実践に活かせるよう努めています。					
主な行事等		楽しみながら成長できる機会として、年間を通じて様々な行事を実施しています。親子で参加できる「親子サッカー」では、家族とのふれあいを深めながら、運動を楽しむ時間を提供します。また、「公共施設見学」では、地域の図書館や消防署などを訪問し、社会とのつながりを学ぶ機会を作ります。これらの行事を通じて、コミュニケーション能力や社会性の向上を図ります。													